

えがお

発行 青少年育成美浦村民会議
事務局 美浦村教育委員会 生涯学習課
美浦村中央公民館内
美浦村大字受領1460-1
TEL029-885-4451
平成30年3月28日

伸びよう伸ばそう青少年 ～心豊かな青少年を育てるために～



美浦中学校授業訪問より

青少年育成美浦村民会議

会長 葉梨 輝夫

平素より皆様には村民会議の活動に對しまして、多大なるご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、青少年を取り巻く環境は、少子高齢化に伴う地域とのつながりの希薄化や、それに伴う家庭の孤立化、大人の価値観の多様化により大きく変化しております。

特にスマートフォンをはじめとした様々な情報端末が普及した情報化社会の中、長時間使用による生活習慣の乱れだけでなく、インターネットを介した被害やトラブルに巻き込まれることも少なくありません。

教育・子育ては、学校や家庭だけの問題ではありません。次世代を担う青少年が自他を大切に思い、安全で健やかに成長できる環境づくりは、私たち大人の責務であります。人は何気ない会話やふれあいを通して心を通わせることができます。声を掛けあうことで互いに気持ちが見るようになります。「地域の子どもは地域で守り育てる」気持ちを共有して、互いに青少年に関心を持ち、地域社会全体で見守っていくことが大切であると考えます。

村民の皆様におかれましてもそれぞれの立場から、青少年が心豊かに育つようご支援ご協力をお願い申し上げます。

美浦中学校授業訪問と下校時の声かけ運動

学校での教育活動の様子をつかむことを目的に、美浦中学校、木原小学校、安中小学校、大谷小学校、美浦幼稚園の授業の様子を参観しています。

今年度は7月に美浦中学校を訪問して、授業参観及び学校との意見交換会を実施しました。また、下校時のあいさつ声かけ運動を連携して3日間実施しました。美浦中学校生徒のあいさつは、とてもはつらつとしていて大変感心しました。



意見交換会



下校時の声かけ

青少年健全育成のための環境整備事業

7月1日（土）に通学路清掃を中心とした青少年健全育成のための環境整備活動を実施しました。

当日は雨が降り天候の悪中、村内小学校児童（ジュニア・アカデミー）や美浦中学校生徒（ユース・リーダー）も参加しての通学路の清掃を実施しました。また美浦村青少年相談員はコンビニエンスストア、書店など青少年と関わりが深い店舗へ訪問し、青少年の良好な環境整備について協力を依頼しました。



通学路清掃



青少年相談員による店舗訪問

青少年非行防止巡回活動

8月2日（水）に美浦トレセン夏祭りにおいて、犯罪や非行のない明るい社会の実現のため、会場周辺の青少年に声を掛ける「巡回指導」を行いました。「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」においては、23時～翌日午前4時までの青少年（18歳未満）の外出は禁じられています。この時間帯に外出している青少年を見かけた場合は帰宅を促すようお願いいたします。

※7月16日（日）に予定していた木原祇園祭での活動は、雷雨の影響で、中止としました。



講演会及び野球教室

12月3日（日）、ノーテレビ・ノーゲーム運動実行委員会と協賛し、講演会を開催しました。

講師には美浦村出身で元北海道日本ハムファイターズヘッドコーチである阿井英二郎さんを招き、「心の成長を促す～セルフリーダーシップ～」という演題でお話いただきました。一般企業の社員、教諭、プロ野球選手、ヘッドコーチとしての自分自身の経験談を交えながらのお話にて、参加者は聞き入っていました。

講演会終了後には、光と風の丘公園野球場にて地元少年野球チームを対象に野球教室を開催しました。阿井さんの熱血指導ぶりに、次第に選手達は真剣な眼差しに変わっていきましました。「今やっている練習の意味・目的」を伝え、考えながらの練習は、短い時間ではありましたが、とても貴重な経験となりました。



阿井英二郎さんによる講演会



スーツからユニフォーム姿に



1塁まで全力疾走！



阿井さん、ありがとうございました

青少年健全育成茨城県推進大会

2月7日（火）、「青少年健全育成茨城県推進大会」が水戸市の県立民文化センターで開催され、幼稚園・保育所を含む学校、PTAなど関係者13名が参加しました。

本大会には県内小中学校から募集した「家庭の日」をテーマにした絵画・ポスターが展示され、美浦村からは安中小より応募された作品の中から3点の作品が展示されました。

※家庭の日とは・・・本県では、家庭の大切さについてあらためて考える機会になるよう、昭和40年から毎月 第3日曜日を「家庭の日」と定め、明るく楽しい家庭づくりを推進しています。



青少年健全育成茨城県推進大会より



県内から多くの作品が寄せられました

青少年育成美浦村民会議は、青少年の心を育てるキャンペーンとして、親が改めて自らの日常生活のあり方を振り返り、姿勢を正していくことを願い、「親が変われば子どもも変わる」運動を、本会議の上位機関である茨城県青少年育成協会と連携して推進しています。

明日の茨城を担う青少年が、豊かな心、社会性、国際性を身につけ、心身ともにたくましい人間として育つためには、親が自分たちの役割と責務を自覚し、日々の生活の中で、子どもへの関わり方を見つめ直し、より適正なあり方を目指し、様々な工夫と努力をしていくことが大切です。

まず、親自身、どんな関わり方をしているかチェックすることから始めてみましょう。

すべての親がよりよい親を目指して…
それが「親が変われば、子どもも変わる」運動です。

子どもの成長を育む

- ・健康、安全を心がけ、整理整頓ができるようにしよう
- ・「良い行い」をほめ、励まそう
- ・地域の行事や様々な活動体験に積極的に参加させよう

生きる力を育む

- ・つらいことも我慢し、困難を乗り越える力を身につけさせよう
- ・自分の行いには責任があることに気づかせよう
- ・様々な事柄への挑戦や体験活動の充実等を通じて意欲や社会性を育てよう

子どもの自主性を育む

- ・家庭生活の決まりやルールを作り、家事を担わせ、自立心を育てよう
- ・子どもが自分で気づき、考え、行動できるようにしよう
- ・正しいと思ったことは、はっきり主張できるようにしよう

基本的な生活習慣の形成

- ・きちんとあいさつができる
- ・約束や決まりを守り、行動できる
- ・善悪をわきまえた行動がとれる
- ・生活のリズムを整え、向上に努める

子どものモデルになって！

- ・機嫌が悪いときでも、ささいなことで叱ったりせかしたりすることはしない
- ・自分にとって都合の悪いことでも他人のせいにはしない
- ・つらいこと、イヤなことでも避けずに取り組む

親子の信頼関係を育む

- ・思いやりのある明るい家庭を作ろう
- ・会話を増やし、子どもの話に耳を傾けよう
- ・家族そろって楽しい食事をするようにしよう

伸びよう 伸ばそう
健やかな子どもの成長

